

協働事業評価シート

部課名	こども未来部 こども政策課	令和2年度
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	

予算事業名	子ども・子育て支援新制度事務	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	----------------	--

協働事業名称	子育て情報誌作成	
協働事業の概要	子育て中の方やこれから子育てする方が安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介するための情報誌を作成する。	
協働事業の決算額	142,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和2年8月31日～令和3年3月31日	

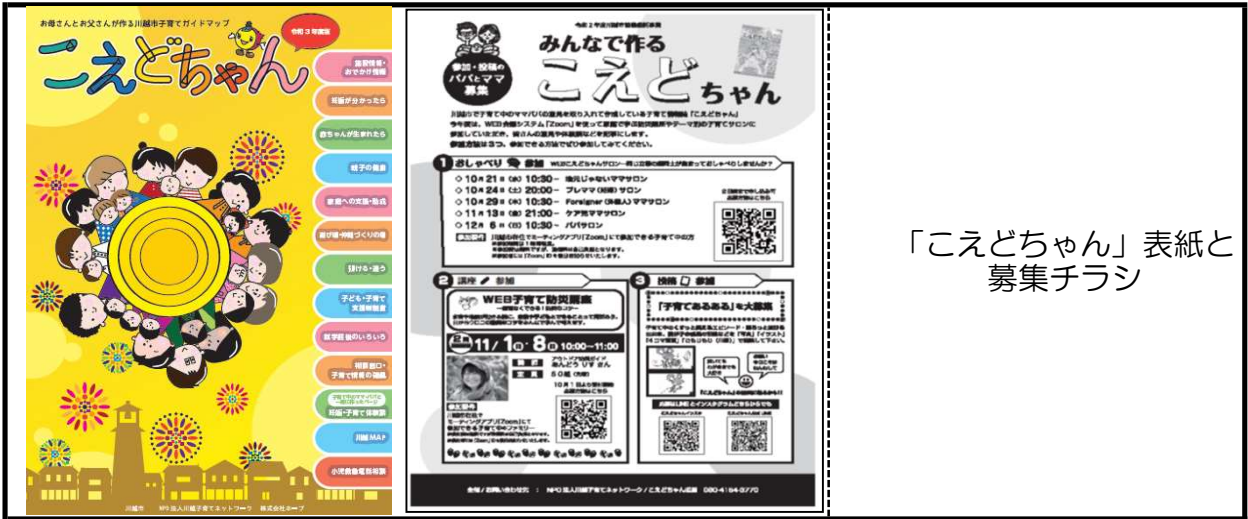
協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	4	4.5

合計点数	32.5 点
------	--------



「こえどちゃん」表紙と募集チラシ

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は今回で19版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、市内の未就学児のいる世帯へ冊子を配布することで、子育てを支援するものである。

掲載内容については、協働事業の実施により、市民活動団体の意見を取り入れながら、ニーズに合った情報を掲載することができている。

平成27年度版からは、編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者で事業を実施している。これに伴い、子育て支援施設や幼稚園、保育所等を通じ、合計2万部を子育て世帯に配布している。近年、印刷、輸送面など、冊子作成のコストが増加していることなどもあり、民間事業者の負担が大きくなっているため、引き続き事業者などからの情報収集に努め、必要とする家庭に子育て情報誌が届けられるよう作成を進めていきたいと考える。

【市民活動団体等】

作成時期が例年より2か月ほど後ろ倒しになったので、現在作成真っ最中の感想になる。コロナ禍において、WEB会議システムやメール等を用いたの作成となったが、実施しただけでは誌面にならないため、参加者から終了後に感想や写真などを提供してもらい誌面にまとめた。講義型の内容を誌面にしたのも初めての試みだった。また、WEB会議システムは定員は設けなくても一度にたくさんの方が参加することができるため、今回はこえどちゃん世代(未就学児までの親)に限らず、「防災」に興味をもつ世代も参加してくれた。市内全域から参加してもらえたこともメリットである。今後も使い方次第で可能性は大きいと感じている。

WEB開催ということと今までつながれなかった人と繋がるチャンスと考え、外国籍市民ママ、ケア児ママ、プレママ(妊婦)などをテーマにしてみた。結果は、ケア児ママサロンとプレママ(妊婦)サロンは不成立だった。これは、短期間でつながりを作ろうとしても無理だということが分かった。予想外に外国籍市民ママが集まったのは、WEBから情報を取ることに慣れていることと、本当にこのようなつながりを求めているということではないだろうか。

例年とやり方は大きく違ったが、講座やサロンの参加者からは参加して良かった、また、安心して会えるようになったら実際に会いたいねという声も聞けた。サロンでは、普段と変わらぬ子育ての様子が垣間見られ、それぞれの日常がそこにあった。このページを見た子育て世代が、少し肩の力が抜けるような誌面になるよう作成している。担当課とは度重なる打ち合わせを通し、お互いの考えを擦り合わせている。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	10名	A
B	0名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

- ・相変わらず安定した情報の提供の仕方
- ・パートナーシップもしっかりしている。
- ・民間事業者の印刷、輸送面などのコスト増加とあるが、具体的な数値を知りたい。また、担当課はどのように解決するのか。
- ・コロナ禍の中、web会議やメールを使用するなど新しい試みを行っていくうちに、今までの方策と併せて幅が広がったのではないかと。

- ・コロナ禍の中、対人接触への制限が求められている中で、試行錯誤を繰り返しながら進めていただいたものと感じます。こうした状況だからこそ、人とのつながりを維持していくことが求められると思うので、こうした事業は非常に大きな意味をもつものと考えます。
- ・市民活動団体と行政の信頼関係がうまく機能していると思います。
- ・多様な市民への配慮も行き届いていると思います。
- ・今後のコロナ禍においてweb会議等様々なツールを活用し事業を推進したことに敬意を表します。また、外国の方からの情報を取り入れられたことは、大変な評価に値すると思う。
- ・若いお母さん達は横のつながりがあまりないように思います。こえどちゃんの内容はすごく良いと思いますので、活用してほしいので、どのくらいの活用はあるのか、どうしたら活用する人が増えるのかも考えてほしいです。
- ・コロナ禍という状況に対応してWEB会議システムの活用等、新たな事業展開を試み、その成果を出した事は評価したい。また、新たな参加者があったり、情報提供の仕方など、課題も見つけより更に良い協働事業となる事を期待したい。
- ・webでのトライで今までリーチできなかった外国籍ママとのつながり、ニーズがもてたことはよかった面だと思う。
- ・web活用、防災、外国籍ママという新しい視点を見出してくれたことは素晴らしいこと。担当課との度重なる打合せを行っており、協働事業としてモデルケースになる良い事例。
- ・校正を市が担当するなど、良い分担ができています。
- ・こえどちゃんは、子育てを支援する冊子として、若い母親、父親には心強い冊子と思われる。本年度はコロナ禍の中、大変だったと思います。講座、サロンでの話し合い等、とても心強く思われたと思います。
- ・子育て情報誌として市民から一定の評価を得ていると理解しています。今後、更なる誌面のバージョンアップと読者の支持拡大を期待します。
- ・新型コロナ禍での誌面作成作業は御苦労が多かった様で大変だったと推察します。しかし前向きに捉えると作業のweb化や、TV会議など、将来、紙媒体からweb媒体への進化や共存につながる気がします。御検討されてはいかがでしょうか。

協働事業評価シート

部課名	保健医療部 食品・環境衛生課	令和2年度
記入団体名	小江戸地域猫の会	

予算事業名	動物管理・指導	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	---------	--

協働事業名称	地域猫活動推進事業	
協働事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「川越市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する補助金交付事業」において、飼い主のいない猫の捕獲が困難な人に対し、捕獲の協力を行う。 ・「川越市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する補助金交付事業」に係る広報活動として、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術について、広報を行う。 	
協働事業の決算額	35,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	令和2年9月15日～令和3年3月31日まで	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	互いの自主性・自立性を尊重し、行政と市民活動団体等が対等な関係で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
5	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	5	4.5
6	事業目的に沿った事業内容を実施することができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	32 点
------	------



地域猫活動パネル展示

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

昨年度までは、提案型協働事業補助金として実施しておりましたが、本年度から協働委託事業として実施となりました。

新型コロナウイルスの影響もあり、活動内容を変更した部分もございましたが、お互いに共有する目的に向かって、活動に取り組むことができました。

来年度も協働委託事業として実施する予定としておりますが、補助金制度等を活用し、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術を多く行うことにより、繁殖抑制を図り、地域の良好な生活環境を促進する目的を共有して、引き続き活動に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【市民活動団体等】

川越市は、おもてなしの精神を持ったお気持ちの優しい方の多い市だと思いますが、動物愛護に関しては、東京都に比べて情報不足が否めないと思います。動物の愛護及び管理に関する法律は改正が続いています。正確な情報をお伝えすることが、命に優しい川越市実現に近道ではないかと思いました。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	6名	A
B	4名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

- お金がかかるので、1度で全ての目的を達成するのは困難。
- 何年か、計画的に事業を進めて欲しい。
- 去勢手術、虐待事件、キャンペーン等と別個に計画的に実施すべき。
- 報告書からはどのような活動を行ったのか見えない。もっと具体的な記述をしてほしい。
- また、今年度は猫の不妊、去勢手術は行えたのか。行った場合の件数は。補助金を使用する場合、何頭できるのか。

・コロナ禍の中において事業が制約されつつも積極的に活動していただいていたこと、感謝申し上げます。今年度は十分な活動ができなかったかもしれませんが、広がりのある事業でもあると思いますので、今後の展開に期待します。ただ、事業に広がりがあるがゆえに行政との情報共有が重要になりますので、その点にも気をつけながら進めていただければと思います。

・少ない事業の決算額で大変御苦勞様と申し上げたい。しかし、もう少しPR活動に重点を置いて推進していただいたら良いと思います。

・川越市の委託事業として妥当だと思います。これからも長く続けてください。このような活動を行っているグループがあるとすれば互いに連絡をとって広く活動してほしいです。

・協働委託事業としてより良いものとするために、行政と市民団体がよく話し合い、“正確な情報”の伝達方法等について検討し、実施してもらいたいと思います。

・保健所ではできない猫の捕獲に協力しているということをきちんと評価してほしい。

35,000円の委託費は見直ししてほしい。団体は専門性を持つ団体として組織を整え、次のステップへと活躍していただきたい。提案型協働から協働委託事業へと成長したモデルケースなので、今後の協働に大きく期待しています。

・法律を市民に周知することも協働して行ってほしい。

・300頭もの猫の去勢手術につながったことは、コロナの中素晴らしいことです。

・地道な活動であるが大変だと思います。子猫を不妊、去勢して飼い主へ渡す等の活動を引き続きお願いしたいと考えます。のら猫の捕獲はどのようにされているのでしょうか。

・継続することに意義がある事業であり、実施にあたっては引き続き創意工夫しつつ頑張ってくださいと考えています。

・団体の主体性が大きく寄与している事業と評価できます。それに反し、行政に対する情報提供不足が提供されており、今一度相互で協議しレベル合わせする事が大事だと思います。